

日英共同研究

JST-RISTEX 「人と情報のエコシステム」研究開発領域：

PATH-AI: 人間-AIエコシステムにおけるプライバシー, エージェンシー, トラストの文化を超えた実現方法

英国研究・イノベーション機構(UKRI)

PATH-AI: Mapping an Intercultural Path to Privacy, Agency, and Trust in Human-AI Ecosystems

日本側代表者：中川裕志（理化学研究所・革新知能統合研究センター）

英国側代表者：David Leslie(The Alan Turing Institute・Public policy programme)

令和2年1月から令和5年3月に行われた表記のJST-RISTEXの受託研究は、英国との共同研究（英国側は the Alan Turing Instituteとthe University of Edinburgh）である。共同研究の一環として医療系AIに関する社会調査を行った。社会調査の質問は英国側起草者であるJames Wright(The Alan Turing Institute)が作った原案をもとに筆者とWright氏との間で議論し、国情に合ったものに調整して作成した。

具体的に対象にしたAIは、covid-19の接触通知アプリ、医療診断チャット、対話型介護ロボットであり、最後にこれらへの質問を踏まえてAI一般について質問した。回答者は一般人と専門家の2グループからなる。英国側はインタビューによる聞き取り調査、日本側はWebインタフェースによる選択質問と記述回答を併用する方法で行った。

この調査から得られた結果に関して、以下の2つの報告を掲載する。

1. 英国側：人工知能と社会エコシステムの関係性—プライバシー, エージェンシー, 信頼性の概念に関する日英の考察: 報告書
2. 日本側：医療系AIアプリに関する社会調査